

---

# もう愛はない

ここあ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

もう愛はない

### 【Nコード】

N0997Y

### 【作者名】

ここあ

### 【あらすじ】

大切な人に裏切られた主人公の亜美。  
あまり恋愛経験がなく、  
男に縁がなかった。  
恋にトラウマになっていた彼女の前に現れた  
謎の男、大翔に出逢い  
亜美の心も変わっていく。

恋に友情、楽しい学園生活とは裏腹に

裏切りや辛い経験も超え  
大人になっていく亜美を中心に描いた  
青春ストーリー。

## 愛×恋

「最低！」

あの日以来私は人を信じられなくなった。  
大切に大好きな人に裏切られたのだ。

「本気で信じてたとか馬鹿じゃん！」

所詮こっちはずっと遊びだし、体目当てだったから  
彼が最後に告げた言葉だった。

涙が頬に落ちた。

あいつは見つめた。

ただどうしようもない哀しい思いで。

「はあ、はあ、夢？」

またあの時の夢を見てしまった。

あたしが振られた日。

初めてあんなに泣いた日。

この日のことが夢に出てくることは珍しくはない。

幾度と無くでてくるものだから忘れようにも忘れられなくて。

「亜美ーおはよー♪」

教室に入り声をあげたのは綾香。

綾香はあたしの親友。

あたしは去年の冬、振られました。

そんな日々を超え秋をむかえている。

あれから一年。

新しい恋をしてあの事は忘れようと必死にもがいた。

が末、相手を見つけることが出来なかった。

そんな恋にトラウマになっていたあたしを助けてくれた恩人が綾香。  
なぜかと言うと綾香は

付き合っていた彼氏にレイプされたらしくて：

それでもそんな辛い過去も顧みず、

あたしに優しい言葉をかけてくれて。

高校1年生でこんな大人びたことを言える人もいるんだって  
同級生なのに憧れの存在になったんだ。

あたしも綾香もフリーだから

恋話とか少ないところが話が合うところなんだよね。

「亜美ーご飯食べに行こう☆」

「うん！」

ドアに向かった瞬間だった。

バンツツツツツ！！！！！！

え？

目の前にいるのはドアにぶつかった血だらけの男。

が、あたしの腕を掴んでる？？！

その人がゆっくりあたしの顔を見つめた。

目が合うと怖いと思ったがなぜか

引きつける目をしていて目を逸らすことができなかった。

それはまるで何かを訴えているようなそんな目をしていた。

「お前、誰？」

「板川亜美。1ー4です！趣味は…」

「わかった、もういい。ちょっと来てくれ。」

少しかすれた男の声。

彼は立ち上がり、あたしの腕を掴みながらどこかへ向かった。

あたしには何が無だかわからなくて。

どこか暗い所に着いた。

そこは裏階段。

そこには不良らしき男女がそれぞれ4人位立っていた。

ある人はガム、ある人は煙草、

そして金髪の人まで……

あたしには縁がない人たちばかりだった。

「あの……」

あたしは思い切って彼に話しかけてみた。

彼はしばらくはこっちを向いてくれなかったが

あたしの耳元で小さく囁いた。

「これはお前への借りだ。」

絶対に後で返す。」

「えっ？」

その瞬間あたしは思いっきり腕を引きつけられた。

そしていきなりのキス。

状況が読めず必死に体を支えていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0997y/>

---

もう愛はない

2011年10月31日20時18分発行